

【福島原発事故 放射能汚染】 組合員さんから提供して頂いた 母乳、放射能検査結果(第1次)

水道水汚染の影響か、微量の放射性ヨウ素検出される

3月15日には福島原発事故で発生した放射性雲が広く関東から内陸部までを覆い、18日野菜から放射能検出で放射性物質の地上への降下が確認されたことから、生協としては「野菜に限らず動物、ヒトまで放射性物質が注いだ」との認識で、当初は身体や野菜に降った放射性物質は払い落とし、よく洗って食べることを提案しました。

ところが、21日の降雨で、翌22日には茨城県内の野外の牧草を食べていた牛以外の、牛舎内で飼育されていた牛の「牛乳」からも放射性物質が検出されたことから、「広く水が汚染された」ことを確認し、「水が汚染された以上、飲料水経路でヒトも取り込む可能性」から、23日母乳の検査をすることを決定。

早速母乳を与えている組合員に声をかけて母乳を検査させて頂くこととしました。25日に3名の母乳の提出を頂き、検査機関に依頼、28日に検査結果が明らかになりました。

幸い、結果は最高値でも31ベクレルと低濃度。「水道水」が当時守谷市で放射性ヨウ素が80ベクレル、東京金町浄水場で最高210ベクレルだったことから、濃縮されて母乳から出てくる心配はないことを確認しました。(茨城県内の牛舎内飼育の牛の牛乳で23~270ベクレル)

検体	住まい	採取日	放射性ヨウ素	セシウム134	セシウム137	備考
	食品摂取制限暫定指標→		(300)	(200)	(200)	
Aさん	つくば市	3/24	8.7	不検出	不検出	産後4ヶ月 戸建て在宅。外出あり。水道水。
Bさん	つくばみらい市	3/24	不検出	不検出	不検出	震災後あまり外出せず。高層マンション。水道水。
Cさん	守谷市	3/24	31.8	不検出	不検出	(生協職員)双子出産後23ヶ月/勤務中。守谷水道80bq

(検体) 母乳(200cc) (検体数) 3 (単位) ベクレル/kg (検査機関) 東京ニュークリアサービス つくば開発センター (測定器) ゲルマニウム半導体測定装置 SEIKO EG&G社製 GEM20P4型 (測定時間) 1800秒 (測定方法) 科学技術庁放射能測定マニュアルに準拠

上記数値によるお母さんの被曝量は、守谷市の80ベクレルの水を一日1リットル飲んだ場合

$80\text{ベクレル} \times \text{ヨウ素係数} 2.2 / 100000 = 0.00176\text{ミリシーベルト}$
母乳31.8ベクレルで赤ちゃんに摂取されて一日で通過すると考えると被曝線量は半分以下の
 $31.8\text{ベクレル} \times \text{ヨウ素係数} 2.2 / 100000 = 0.000699\text{ミリシーベルト}$ となります。

数日体内に留まったり、その30%が甲状腺に取り込まれて半減期を待っても1桁オーダーが上がるレベルです。

(生物学的半減期: 乳児11日、5歳児23日、成人80日)
普段の自然放射能(バックグラウンド)からの被曝線量が年間1.6ミリシーベルト。公衆被曝線量限度が年1ミリシーベルト、医療被曝を含む管理被曝線量が年間10ミリシーベルト。一時的な被曝で妊産婦が安定ヨウ素剤の投与が必要とされる被曝線量は50ミリシーベルト。

現時点の福島原発周辺を除く関東圏では上記の濃度の汚染が継続して長期にわたって維持されると考えられないことから、母乳を与えていたからといって心配するレベルではないと考えられます。

逆に粉ミルクを水道水で溶いて与えた場合よりお母さんの身体を通した母乳の方が低いこととなります。推定では母乳には母親が摂取した量の1/4になるとされています(日本産婦人科学会)。

※粉ミルクはミネラルの少ない軟水の水で溶くことが前提で成分配合されていますので、ミネラルウォーターで粉ミルクを溶くとカルシウムなどのミネラルの過剰摂取で赤ちゃんの腎臓などに大きな負担をかけることとなりますので注意が必要です。(乳児Ca必要摂取量200mg、ミネラルウォーター500mg/l)

もちろん被曝しない方がよいのですが、水が一樣に汚染されている以上、気持ちを穏やかにして、冷静に総被曝線量を減らす対策(水道水沸騰後冷凍保存で放射性ヨウ素半減期を待つ、蒸留水を作る、活性炭浄水機等)を採ることが必要です。

現在、つくば市の庄司産婦人科の慶子先生が常総生協組合員で、産婦人科学会でも実際の母乳のデータがないことから、産院に来られているお母さんからさらに検体を頂くとともに、その後の推移を見るために同一

【東日本大震災ー生産者の安否・復興特集】

無事によかった！ 石巻の高橋徳治商店さん、 まるたか水産さん、オーシャンネット



高橋徳治商店の英雄社長。「みなさんの温かさに……。やめるわけにいかなくなるなあ」でも、社員2名と連絡がとれていない……。



石巻漁港の通りにある高橋徳治商店第二工場と生協トラック。

←地域のみなさん100人近くが避難している牧山神社。2週間着替えていないとのこと、肌着100名分も届けました。



サンマの「オーシャンネット」千葉社長(左)、茨浜生カキの「まるたか水産」高橋専務(右)。(中)は生協の柿崎理事。



石巻漁港前の道を走る常総生協のトラック



石巻漁港はがれきと砂泥で



海からの道路は津波にのまれた跡

【今週の紙面】

- 【P1】 被災地へ 石巻高橋さん、オーシャンネット、無事によかった！ よかった！
 - 【P2~3】 被災地生産者情報(第三報)
 - 【P4】 組合員さんの「母乳」、放射能検査結果 max31ベクレル(水道水80ベクレル)
 - 【内面】 被災地食糧・物資支援活動報告(石巻、仙台、涸沼、ひたちなか市、久慈浜丸小)
- 2011年度総代選挙広告 選挙管理委員会からの呼びかけ

現金での受け付けに加えて、注文書でも申し込めるようにしました。

産地災害復興基金募金 (1口 500円)

注文用紙で申し込めるようにしました No. 467

- 注文用紙のこの番号に「1」と記入すると500円、「2」記入で1,000円となります。
- 商品代金と同じ請求にて自動引き落としをさせていただきます。5月4日まで継続します。

【東日本大震災一産地状況(第3報)】



コタニさんの三陸町綾里(りょうり)工場(奥)



綾里の町。中央、瓦礫が盛り上がったところがコタニ工場



コタニさんの工場内



小学校校庭に流れ着いた瓦礫

産地名	所在	被災状況・安否・再開・復興見通し等	生協としての復興支援
岩手県	コタニ(産地) (海藻・乾物)	三陸町 綾里	<p>大船渡で小アミの仕入の相談をしていた時に被災した小谷会長が3/31生協に。</p> <p>○コタニの現地工場のある三陸町綾里(りょうり)の写真を見せて頂いたが、すさまじくて言葉が出ない。コタニさんの工場は建物がかろうじて残っているが中がぐちゃぐちゃ。在庫だけでも5千万円が流されている。</p> <p>○自衛隊が道路の瓦礫だけ撤去してくれたが、家や工場の瓦礫は手がつかない状態。電気や電話はまだ不通。三陸の漁協や海藻工場は壊滅的で、今だ行方不明の方が多くいる状況の中では、「復興」「再建」という言葉自体がはばかられる。</p> <p>○浜の海藻工場は経営の資金が持ちこたえられずほとんど廃業する様子で、泣いて社員を解雇せざるを得ない状況になっているとのこと。</p> <p>○小谷会長は、現地の海藻原料生産者と再建を約して東京に戻り、再建方針・金策、取引先・販売先との信頼関係に走っている。「ウチは早く避難して亡くなった人もなく、幸いだった。従業員の雇用を守りたい。心配してくれる良いお客さんにも恵まれた」と。</p>
	共和水産 (朝獲りイカ)	宮古市	<p>主力の冷凍庫は流されたが、生き残った冷凍庫の在庫で4/4より生産再開します！</p>
	まるとも島香 (鮮魚セット)	宮古市	<p>冷凍の原料が残ったので加工から再開します。</p>
宮城県	高橋徳治商店 (練り製品)	石巻市	<p>しばらく避難所生活が続く。自宅前の冷凍倉庫も津波で流され、在庫だけでも約1億円の損失。</p>
	まるたか水産 (生かき)	石巻市 荻浜	<p>かきの筏(いかだ)は全て流されてしまったが、冷凍かきの原料は助かったため、カキの加工品から製造再開予定。</p>
	東北トクスイ (シーフードミックス)	塩釜市	<p>奇跡的に工場・冷蔵庫が残った。生命線のトンネルフリーザーの調整中。地域のお母さんたちも再結集。</p>

4月2週より「組合員からのメッセージ」と義援金を持って産地に入ります

産地名	所在	被災状況・安否・再開・復興見通し等	生協としての復興支援
福島県	山木屋牧場 (ノンホモ牛乳)	川俣町	<p>○牛50頭(放牧)がいるのでお母さんと息子で守っている。お嫁さんと子供は埼玉に避難させている。周辺はみな避難して人がいなくなっている。「草が汚染されているので牛も外に出せずに牛舎に一日中に閉じ込めている。それでも22日の原乳検査でヨウ素が2600ベクレル。</p> <p>○通る車も自衛隊の車と警察のパトカーだけで気が滅入る。もう酪農は続けられないかもしれない(お母さん)。</p> <p>○「再建といっても従業員はもう集まらないし、これまでの借金があって、これからまた借金して返せるかどうか。持ちこたえられるかどうか。今が潮時かとも迷っている」</p>
	センシン食品 (相馬の地魚)	相馬市	<p>新潟で再起を計画中。お金をためてもういちど相馬にもどってきます。</p>
茨城県	久慈浜丸小漁協 (豆あじ、しらす)	日立市	<p>久慈浜漁港市場は重機が入り、瓦礫撤去を開始。震災直前に竣工したばかりの加工場は奇跡的に残り、浸水の片付け。漁師は「茨城は風評被害。今出漁しても、買ってもらえない」と出漁していない。</p>
	大瀬沼漁協 (じじみ)	茨城町	<p>沈んでしまった船の引き揚げ作業に早期にとりかかる予定。</p>
	塩屋 (しじみ加工)	ひたちなか市	<p>○ひたちなか殿山町の貝の選別工場は3/27再開。</p> <p>○那珂川河口に購入したばかりの新工場は津波で内部に泥砂が。</p>
茨城県	鈴木牧場 (ヨーグルト・チーズ)	石岡市	<p>○3/20ヨーグルト生産再開するも、3/23放射能問題で再び出荷規制に。</p> <p>○生協からの要請で、4/1より生産再開、4/4より供給再開。</p>
	天池さん やさと仲間 宇田田さん 阿部さん	石岡市	<p>○出荷規制をめぐる活発な内部議論あり。サーベイメーターによる自主的簡易検査もすすむ。</p> <p>○岩手、福島、福島の被災地、避難地への有機野菜の支援行動も開始された。</p>
	微生物農法の会 清水農園	行方市 坂東市	<p>○3/30、周囲の検査結果から放射能汚染低位との判断で、出荷制限にかかわらず、生産・供給を要請。</p> <p>●放射能検査をつくばの検査機関に依頼。</p> <p>●先に実験した20%生乳グループ供給を元に、小さな牛乳プラント共同建設を提案。検討を要請。</p>